

共通小委員会報告

論文集編集小委員会

2019年度 論文集編集小委員会：委員名簿

委員長：中村晋 日本大学

幹事長：梶田幸秀 九州大学

委員：(19名)

上田恭平 京都大学

奥村与志弘 関西大学

小野祐輔 鳥取大学

片岡正次郎 国土技術政策総合研究所

北原武嗣 関東学院大学

酒井久和 法政大学

佐藤 清 (株)大林組

庄司 学 筑波大学

鈴木崇伸 東洋大学

高橋良和 京都大学

飛田哲男 関西大学

野津 厚 港湾空港技術研究所

原田賢治 静岡大学

古川愛子 京都大学

松崎 裕 防衛大学校

宮島昌克 金沢大学

目黒公郎 東京大学生産技術研究所

吉田雅穂 福井工業高等専門学校

吉見雅行 産業技術総合研究所

地震動，構造物，地盤，防災，津波，災害調査，地下構造物・ダム等を専門とするメンバーで構成している。

論文集編集小委員会の活動内容

①地震工学研究発表会の開催

- 講演論文投稿期限：9月頃
- 研究発表会の開催：10月頃
- 優秀講演賞の候補者の推薦

②土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集）の編集

- 研究発表会の講演論文を対象
- 論文投稿期限：11月頃
- 査読結果通知：12月末頃
- 登載決定通知：3月頃
- 論文集の発行：8月頃
- 論文賞・論文奨励賞の候補者の推薦

2019年度活動報告

1) 委員会

- 第1回委員会：2019年10月8日 関西大学100周年記念会館 13名参加
論文集査読スケジュールの確認
- 第2回委員会：2020年2月16日 TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター 17名参加
投稿論文の掲載可否の判定会議
- その他、適宜メール審議

2) 行事

- 第39回地震工学研究発表会：2019年10月7日～8日
関西大学100周年記念会館、参加者186名（発表127件）

3) 出版物等

- 土木学会地震工学研究発表会講演論文集(CD-ROM) (2019年10月)
- 土木学会論文集A1特集号（地震工学論文集Vol.39）掲載数72編
2020年8月頃発刊予定

過去7年間の参加者・論文数等の推移

年度	研究発表会			論文集	
	開催場所	講演者	聴講者	合計	論文掲載数
2013	東大生産技術研究所	146名	53名	199名	101編
2014	まちなかキャンパス長岡	136名	48名	184名	96編
2015	東大生産技術研究所	128名	60名	188名	90編
2016	金沢歌劇座	158名	76名	234名	97編
2017	くまもと県民交流館パレア	170名	65名	235名	103編
2018	東大生産技術研究所	111名	80名	191名	70編
2019	関西大学100周年記念会館	127名	59名	186名	72編

- ・発表件数は熊本地震の前と同程度であった。
- ・聴講者も地方開催（2016・金沢は除く）と同程度である

2020年度は、10月1日、2日に富山大学で開催予定です

2020年度も、地震工学研究発表会への活発な参加とご支援をお願いします

次スライドに4月27日時点での編集小委員会幹事団の考えを記します

第40回地震工学研究発表会について

開催地である富山大学の意向が最優先ではあるが、4月27日時点では、土木学会全国大会が開催される場合は、研究発表会も開催したいと考えている

全国大会が中止（延期）になった場合は、研究発表会も中止、もしくは、応用力学委員会が検討されているオンラインシンポジウムが可能かどうか検討する。なお、地震工学論文集の編集作業のため、「延期」という判断はない。

地震工学論文集Vol.40の編集について

原則として、論文集については研究発表会が中止になった場合でも編集作業を実施したい。

研究発表会が中止になった場合は、編集作業の日程的余裕を確保するため、従来（11月10日頃）よりも1から2週間程度、投稿受付締切を早める可能性はあります。

査読結果を判定する編集小委員会（2月）については、場合によってはWeb会議もしくは幹事団と部門主査のみの少人数会議で開催する。